

# 資料提供

提供年月日：令和元年(2019年)11月25日

担当者：広報課報道係 片山

077-528-3043

防災危機管理局地震・防災係 堀江

077-528-3432

流域政策局流域治水政策室 先田

077-528-4291

## 災害広報シンポジウムの開催について

先日の台風19号においては、水害リスクマップと浸水の実態が一致しているにも関わらず、自分は大丈夫と思い込み避難されずに多くの方が被災されました。また、堤防が決壊したという情報が地域住民に周知されず、避難所を離れ、帰宅したことにより死者を含む多くの被災者が出ました。中には、特別警報解除後に自宅に戻り被災されたケースもあります。

平常時、災害発生の恐れが発生した時、被災時、それぞれの段階で水害から住民を守る情報をいかに届けるか、その情報は何を意味しているか、それを受けてどう行動すればよいか。有効な媒体、内容、タイミングや頻度などについて公開の場で議論し、県民の防災意識の向上を図ることを目的として、シンポジウムを下記のとおり開催します。

### 記

- 日時 令和元年12月16日(月)13時～15時
- 場所 防災危機管理センター1階 プレスセンター
- 対象者 県民100名
- 内容
  - 基調講演(13:00～13:30)  
「AIチャットボットを活用した防災 ～LINEとAI防災協議会の取組について～」  
LINE株式会社 公共政策室 室長 福島 直央氏
  - パネルディスカッション(13:40～15:00)  
テーマ 「県民に真に届く防災情報伝達について」  
ファシリテーター NHK天津放送局 アナウンサー 大山 武人氏  
・滋賀県知事 三日月 大造  
・京都大学防災研究所教授 矢守 克也氏  
・LINE株式会社 公共政策室 室長 福島 直央氏  
・FM滋賀パーソナリティ 井上 麻子氏  
・東近江市防災危機管理課 西澤 宏文氏
- 応募期間 令和元年11月25日(月)～令和元年12月10日(水)
- 応募方法 しがネット受付サービス  
滋賀県公式HPのしがネット受付サービスより応募フォームに従い、必須事項を入力のうえ、送信してください。